

アジで水俣病調査

湾内のイケスに入れて

広島内海区水産研究所、水俣市、

っている。

同漁協がさる三月十六日恋路島東約五十メートル沖合（水深約十メートル）に二十万円で設置したイケスに五カ月ぶりに十五日市と漁協は水俣湾外でとれた小アジ七十五匹、四千尾を牛深漁協から買い十六日入れる予定。このイケスの中で半年から一年間生息した魚は広島内海区水産研究所におくられ分析、動物実験（動物に食べさせる）され、水銀の濃度その他を調べることにな

水俣湾はここ一、二年の間水もいぜんよりきれいになったといわれ、同実験で同湾の危険度の度合いがわかるものと期待されている。なお同イケスは八角形の白色フロートの下に底つきで深さ四メートルの鉄製の網をはりめぐらしその中に鋼管を入れ、さらにその周囲にイカリ数個をつけて固定してある。